

第2回東北圏広域地方計画検討会義議事概要

1. 日時

平成19年11月20日（火）13:30～15:00

2. 場所

仙台商工会議所会館 7F 大会議室

3. 次第

(1) 開会

(2) 議事

- ①これまでの検討状況の報告について
- ②東北圏の将来像コンセプト(案)について
 - (1) 概要説明
 - (2) 東北圏広域地方計画懇談会の報告
 - (3) 意見交換

(3) その他

4. 閉会

5. 議事概要（意見交換）

- ・ キャッチフレーズの「森と海と人の～」が、本県の平成5年の総合計画のキャッチフレーズに似ているのが気になる。
- ・ コンセプトの柱立てについて、産業振興は大命題であり、「自立的・持続的な成長を実現する経済圏」を、第1番目の柱とすることを検討いただきたい。
- ・ 計画を実効性のあるものにするために、具体的数値目標を入れるのは、難しいとは思いますが検討して頂きたい。
- ・ プロジェクトは、東北圏らしいものをうたっていただければと思う。
- キャッチフレーズは固めたわけではないので、意見を踏まえて検討する。
- 柱の順番の意味づけは考えていない。
- 数値目標については、道路中期計画、社会資本重点計画に数値目標を示しているが、広域地方計画は、もっと広い計画なので文化とか色々なものを含んでおり、これらとの分担関係を考えていかなければいけない。また、全国計画とのフレームの調整も必要となり難しく検討課題としたい。
- ・ 課題の把握の一つとして、今まで格差はあったが、最近拡大しつつあることを現状認識として押さえておくべきである。
- ・ 知事は、既存の制度では、格差の解消につながらないので、同じ国にあってもいろいろな実情に応じた制度の適用のしかたがあるのではないかということで、1国2制度

ということを各県の知事に説明しているところだが、当県としては、制度的な問題点があると考えている。この計画が出来上がって推進する上で、必要だということで、今後の中でも検討して欲しい。

- ・ 大学の機能、公設研究機関があるので、こういったものの活用を東北圏の形成、発展に生かしていくような視点はコンセプトなのか、戦略的目標なのか、どこに入るのかわからないが、生かす視点も検討いただきたい。
- 格差については政治課題にもなっている。なかなかこの中での記述は、難しいものがある。具体的にどういうものに着目して格差が広がっているのか議論する必要がある。
- 大学の研究機関活用については、Eの中で記述できる。
- 産学官公民の連携のなかで、学の役割が重要だ。地域づくり協働体の核になるものとして大学の役割が大きいのではないかとということで議論しているところである。
- ・ エネルギー関係について、当県は、原発でエネルギーを供給としている立場で発言する。供給という意味では、原子力発電がメインである。その場合に、原子力発電所と立地地域の住民との共生という問題が非常にデリケートな課題として抱えている。
- ・ 東北圏が全国に対して果たすべき役割の一つとして、電力供給を考えている。そういった面で考えると、近接である東京周辺への一極集中是正の問題であるとか、災害に対応するときの東北への代替機能等の役割とか検討いただきたい。
- 意見として受け止める。
- ・ 資料の2-2のコンセプトの中で、数値的なものが入っていないから若干インパクトに欠けるのではないか。人口減少は、全国値より東北地域が上回っている。そういう問題意識を広く持ってもらうためには、数字を入れたほうが良い。
- 最終的な計画の姿の際に相談したい。
- ・ アジアゲートウェイの提言を受けて、航空分野の戦略が出てきており、誰もが自由に乗り入れできるようなオープンスカイ政策を進めていく。
- ・ 地域の空港にチャンスが到来している。活動は大事なので、どんどん動いていくことを期待したい。
- ・ 資料18頁の中で、海外から人が相当は入ってきているという指標があるが、ネットワークの面でも進展してきているので、そういう面でもデータを加えたらどうか。
- ・ 資料の19頁にあるように、港湾とか空港は、アクセスがないとどうにもならないので、空港についてもアクセスの整備を強調して欲しい。
- 19頁は、空港のアクセスも入れている。
- 自由化の話で、オープンスカイについては入れるべきだと思う。色々教えていただいて、計画の中に盛り込みたい。
- ・ 来年、平泉が世界遺産登録を目指して活動している。当県に国際線がないものだから、東北という大きな括りで捉えると、当県の国際空港は、仙台空港だということで、東北ということをかなり意識して、これから、観光客の誘致をやっていかなければなら

ない。平泉に観光客が来た場合には、東北各県に回していくか、そういう戦略を各県と協議していく。県境を気にしないで考えていかないと、観光客は、県境を気にしていないで動くわけだから、そういう取組が大事になってくる。

- ・ 産業人材育成について、産学官連携による技術人材育成など、色々なスキームでやっており、当局のホームページに掲載しているのでぜひ活用して欲しい。
 - ・ 地域の力を付けていくためには、地域にいる人材が大事になる。
 - ・ 来年4年ぶりに日中経済協力会議を当県で開催するので、東北の知事、経済界の方々に案内している。このように東アジアとの連携は進んでくる。そういうことを進めていく中で、連携を支える日本海側の道路、交通網は太平洋側と比べるとネットワークの弱さを感じる。今後の具体的なプロジェクトの中での話しになるのかもしれないが、そのことを感じる。
 - ・ 環境関係は、自然環境だけでなく、代替的な機能という意味での環境の負荷の低減、貨物の活用だとかその辺を含めた広い意味での資源の有効活用も考えていく必要がある。
- これで意見交換は終了する。
- 本日、提出された将来像コンセプト案について、色々意見を頂いた。大きな根幹に関わるような修正すべき意見はなかった。この案をベースとして幹事会で、次の戦略的目標や主要な施策での話し合いを進めていくということで、お願いしてよいか。
- それでは、了承されたので、そのように進めさせていただく。
- 今後の検討を進めていく中で、中間とりまとめの時期となるが、その際に、皆さんと、協議する機会があると思うので、よろしく願います。
- これをもって、本日の議事は終了する。

(速報のため、事後修正の可能性あります。)